

## 白浜町教育委員会 会議の結果

|     |  |
|-----|--|
| 件名  | 令和3年10月定例教育委員会   |
| 日時  | 令和3年10月21日(木) 午後2時00分～午後4時20分  |
| 場所  | 教育委員会 会議室  |
| 出席者 | ○教育委員<br>豊田教育長、榎本委員、山本委員、藤藪委員、松場委員<br>○職員(新型コロナウイルス感染症対策として議事に関わりのない職員は欠席)<br>榎本教育次長、森本教育次長補佐、玉本日置川教育事務所長、岡田総務学事係長、嶮口教育指導係長、江川生涯学習係長 |

### 1. 開会あいさつ(教育長)

それでは定例教育委員会の前に、ご報告させていただきます。

本日の出席委員は、4名ですので、会議は成立しております。

ただ今から10月定例教育委員会を開会します。

(藤藪委員は遅れて出席。)

議案第16号 令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について、および、諸報窓口における不適切な対応については、公開による会議を終了したのち、「秘密会」にてご審議することが了承される。また、「諸報 白浜町営日置プールの現状と今後について」を追加する。

### 2. 会議録署名員の指名

会議録署名委員に山本委員が指名される。

### 3. 報告事項

報告第8号 白浜第一小学校建設等工事に関する仲裁判断について

《概要》平成29年3月末に完成した白浜第一小学校建設等工事に関して、町は申請人の主張に対し一貫して合理性は認められないと主張してきたが、和歌山県建設工事紛争審査会において、争点の一つである第一期アスベスト除去工事の壁養生数量について一部申請人の主張が認められ、町が申請人に549万円を超える金員を支払う内容となった。

【榎本委員】

調停を申し入れた側が調停を認めていないのは不満だったのか。

【榎本次長】

理由は聞いてないが、相手方は3千万円を超える主張をしている中で、調停案は295万円でしたので、自分の主張の額より低いと感じられたのではないかと推測されます。

#### 【榎本委員】

何でここまでなってしまったのか。私も経験ありますが、昔、学校や公共施設などに対するアスベストの調査があった。入札する時にアスベストの事とか分かっていなかったのか。

#### 【榎本次長】

アスベストにつきましては、平成17年8月に設計書と目視でアスベスト材料が使われているかどうかの確認調査をしています。白浜第一小学校、西富田小学校、白浜中学校でアスベストを含む材料が使われていると判りました。また、含有量が基準以下であれば対策工事をする必要は無いのですが、当時、その含有量調査の結果を待たずして、封じ込め工事や囲い込み工事を行っております。結果的に二学期からの授業を止めることなく夏休み期間中に工事が終わりました。白浜第一小学校につきましては、同年10月に含有量調査の結果が出まして、当時の基準では1%未満ということで、アスベスト無しという結果になっています。平成18年9月に基準が0.1%と厳しくなりましたが、町のアスベスト対策工事はすでに終わっていますので、国や県からの調査に対しては、対応済みとして報告してきました。

後の、白浜第一小学校を解体する時に、設計の段階で再度確認することなく、通常処理できるだろうと考えていたんだと思います。建築工事が平成26年頃から始まるのですが、請負事業者がアスベスト調査を行ったところ、0.9%となりましたので、まずは、囲い込みして、養生して、飛散しないような廃棄物処理基準に基づく除却をした後に、解体しないといけないようになりました。請負額の範囲内で、解体作業の一部を組み替えるなどアスベストの除却をまず先行させて、報告もさせて頂きながら、中身を変更して、最終的に積算根拠に基づき全体を施工したという経過です。今回の相手側が主張されたアスベストの部分だけで言えば、作業する時の囲い込む壁の養生面積が、相手側と町が示した精算した面積とに差があり、最終的に549万円を支払うべきだというのが仲裁の結果です。

#### 【榎本委員】

かたくなに、自分たちの主張を言うのではなく、柔軟に対応すればよかったのでは。

#### 【榎本次長】

町長も、そこは深く掘り下げて、お互いの言い分も聞いたうえで、調停とか仲裁とかへ行く前に、何らかの精算という方法でも解決できなかったのかと、今となっては反省するところであると申し上げられていました。

#### 4. 付議事項

議案第16号 令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について  
「秘密会」にて審議

#### 5. 請願事項

#### 6. 諸報

諸報 令和3年白浜町議会第3回定例会一般質問について

《概要》令和3年白浜町議会第3回定例会一般質問について、教育委員会関連質問をした議員の質問要旨および答弁内容を報告。(水上久美子議員「新庁舎や図書館建設の進捗等について」、正木秀男議員「教育関係機関での新型コロナウイルス感染症対策について」「高嶋の保全について」、長野莊一議員「通学路の安全対策について」「新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題について」、廣畑敏雄議員「富田地域へ住民文化会館の建設を」)

【意見・質問なし】

諸報 白浜町営日置プールの現状と今後について

《概要》白浜町営日置プールのろ過機が故障し、小プールの使用ができなくなり、代替案として大プールにプールフロアを敷設して運用する計画を検討していたが、ランニングコストや安全面への懸念から断念することとなった。また、今後も施設や備品の修理買替えによる歳出の増加が見込まれるため、同プールの現況と課題、令和4年度の予定について説明を行った。

【山本委員】

プールの存続について、最終的に決定するのは議会ですか。

【榎本次長】

学校プールも兼ねていますので、難しいのですが、町営プールを学校が使用しているという位置付けになっています。阪田にも町営プールがあり、同じように老朽化してきているので、最終的にそれらの存続については町長の判断を頂くことになる。町長や財政部局としては、今のところは田野井プールの使用をお願いしたいと聞いています。

【山本委員】

老朽化しているのは否めない事実だと思う。私見ですが、改修して使えるような状態では無い。また、あのプールは競泳用で、1m45cmの深さがあると思う。小学校で使用するのは不適切に思う。田野井プールは新しいので指導もし易いと思うが、何分にもスクールバスで移動しなくてはならず、時間がかかるのでメリットもデメリットもある。施設そのものを置いておくということは非常にもったいないので、今後どうしていくか長期な展望を踏まえて検討する時期にきていると思う。

【榎本次長】

白浜の方は小学校には必ずといってプールがあるのですが、全国的にみてプールのある小学校は少ないです。都会でもプールほどのスペースを確保するのはなかなか難しいと思います。町においてはプール授業は大切なのでここは堅持していきたいと思っておりますが、毎年限られた予算の中で修繕が必要になり苦慮している状況です。

【山本委員】

今の状態であのプールを使っていたら、ケガをするのは多いと思いますし、特に低学年には生死にもかかわってくるような状態になり兼ねないと思う。

【榎本次長】

全体的なプールの運営の中で、教育委員会からのご要望は伝えていかなければならない  
と思っております。

#### 7. その他

令和3年11月定例教育委員会の日程について

令和3年11月25日(木)午後2時00分から白浜町教育委員会会議室で開催予定。